



会からのお知らせ

○ 5月度定例役員会

日 時 5月10日(土) 13:00～14:30
場 所 ふるさと歴史館 視聴覚室
役員会の前にニュース封入作業があります。
会員の皆様はどなたでも参加できます。是非ご参加ください。

○ 第57回雑学講座

日 時 5月10日(土) 15:00～16:30
場 所 ふるさと歴史館 視聴覚室
講 師 小竹 直隆氏(早大政経卒) 元JTB専務取締役
演 題 「江戸城再建を目指して」
小竹氏は元JTB代表取締役専務で、現在NPO法人「江戸城再建を目指す会」の理事長。当時大都市であった江戸のシンボル「江戸城」にまつわる話を、日本古来の伝統・風習にもふれて話して頂きます。又、日本の観光行政の立ち遅れの実態にも鋭く切り込んで頂きます。ご期待ください。

○ 5月度お誕生会

日 時：5月10日(土) 17:00～19:00
場 所：割烹「丸藤」久米川駅南口徒歩1分
電話042-395-5646
会 費：3,000円(記念品を含む)
* 5月度お誕生の方々(敬称略 17名)
赤荻洋一・上原正行・尾上友男・相馬信一・高柳武司・滝川桜子・多田 実・西村守正
野口順正・比留間光信・深瀬 聡・松澤 徹・宮入秀光・森川 進・森本 吏
守屋幸一郎・吉田勝
・ご出席希望の方は、担当幹事まで電話にてお申し込みください。

○ 稲門会の年度会費納入の進捗状況

その後(2月26日から3月25日の期間)に稲門会の年度会費を納入いただきました会員は以下の方々です。(敬称略) なお、これまでに191名の方々が納入されました。
大西幸夫、岡部幹郎、宮入秀光(以上3名) 会計担当 岡田

2008年稲門祭・HOME COMING DAY について

2008年ホームカミングデー(大学主催)は10月26日(日)に行われます。

今年度の招待対象者は次の通りです。(記念会堂で式典が行われます。)

昭和59年卒業者(卒業25年) 昭和49年卒業者(卒業35年)

昭和39年卒業者(卒業45年) 昭和34年卒業者(卒業50年)

同日校友会主催の稲門祭も開催されます。本年度のテーマは「WASEDA 温故知新」そして、全国の校友の皆さんに「来たれ、心のふるさとへ」と呼びかけています。

青春を過ごしたキャンパスのあちこちに皆さんの若い力が刻まれていて、それが今の活力になっているのではないのでしょうか。

時代を変える大学の姿や、変わらない気風にふれながら校友の祭典である稲門祭をみんなで楽しみましょう。10月26日には是非母校でお会いしましょう。

春季代議員会について

3月8日（土）16時より新装なった大隈講堂で開催された。当日は当稲門会の役員会と重なったため小亀事務局長のみが出席した。

代議員会は校友会会長でもある、白井総長の挨拶で始まり、瀬下校友会代表幹事のユーモアあふれる挨拶のあと議事に入った。

協議事項として

1. 2007年度活動報告および2008年度決算見込額
2. 2008年度活動計画および2008年度の予算の件
3. 推薦校友候補者承認の件
4. 校友会規定一部改正の件
5. 代議員、商議員改選の件

以上5件が審議され、承認された。

また、「校友会組織の強化について」「2008年稲門祭について」等について報告があった。当稲門会に直接関連のあること

- 1 校友会の補助費が10万6千円から5万9千円に減額された
但し、三多摩支部全体への補助費として45万円の配分があった。
この補助費の使い方については、三多摩支部全体の行事に使用することになる。
- 2 代議員の人数が4人から3人に減員となった。現在東村山稲門会からは岡田・小野小亀・當間の4人、また枠外として校友会推薦として井垣が代議員となっている。
6月の改選時に3人選ぶこととなる。（井垣さんは別枠となる。）
また、事務局長は役職上代議員として選出することとなった。

創立125周年記念事業募金188億円達成

東村山稲門会は三多摩26市のうち8番目

代議員会に先立って行われた幹事長・事務局長会議で口元募金局長から募金状況の報告があり、3月6日現在で188億円の申し込みを頂いた旨の報告があった。目標額200億円の94.3%の達成率となった。

東村山稲門会は大学からの依頼額の84.5%にあたる約1,800万円で、三多摩26市のうち8番目の成績となった。なお、募金は5月末まで受けつけております。

地域発125フェスティバルin国立 白井総長と田勢大学院教授との教育対談開催

3月23日、白井総長の母校である国立第一中学校体育館で、白井総長と田勢大学院教授（元日経新聞副主幹）との教育対談が元ニュースキャスターの浜尾珠美さんの司会で地域発125フェスティバルの掉尾を飾って行われた。総長は中学時代の思い出話し等を行い、田勢さんは政界の裏話を交えながら中学時代の大切さの話をし、浜尾さんは自らの子育ての苦労話をしながら教育の難しさの問題提起をされていた。しかし現代の教育の問題点のような話にならず、内容は期待はずれであった。国立中学の同窓会のような感じで、校友会主催の行事とは思えなかった。もう少し内容のある話が聞きたかった。

当会からは三宅会長、風間副会長、當摩彰子副会長、小亀事務局長、額田幹事の5名が参加した。

平成20年3月8日(土)

秋津公民館第1集会室

「定年後のイキイキ人生のために」

講師 安永嘉治氏

平成18年に伊勢丹を、主に外商関係の勤務を定年退職された後、正にイキイキ人生を実践されており、その体験に基づいた、大変示唆に富むお話をして頂きました。稲門会会員と一般市民の方々に会場いっぱいになり約1時間半熱心に聴講されました。

漢字の故事成語の出典やそれにまつわる中国の歴史や日本各地の歴史探訪、健康のためのウォーキングを兼ねて歴史のロマンにふれる江戸・東京散歩等、そして在職中より習っておられた歌を生かして、歌唱指導を現在数カ所で譜面を使って丁寧なご指導をされている由、皆さん流石と感心しておりました。

安永様より下記のご挨拶をお寄せ頂きました。ご一読頂ければと存じます。

(三宅)



講演会を終えて

3月8日(土)、「定年後のイキイキ人生のために」をテーマとした私の講演会を開いて頂きました。

「矍鑠(かくしゃく).....」という言葉の出典の物語から始まった私の話を、秋津公民館に定員いっぱい集まってくださった諸先輩方が、真剣に、時には頷きながらまた笑いながら、最後まで本当に熱心に聴いてくださいました。

昭和45年に早稲田大学商学部を卒業した私は、その後37年間のサラリーマン生活を経て、一昨年4月で定年を迎えました。現在は、カラオケ教室を4カ所で開き、5カ所のカルチャーセンターで「江戸・東京歴史散歩」の講師を務めております。

〈定年後をどう過ごすか?〉誰にとっても共通のテーマでありながら、いざその時になって〈果て?〉と途方に暮れてしまいがちですね!

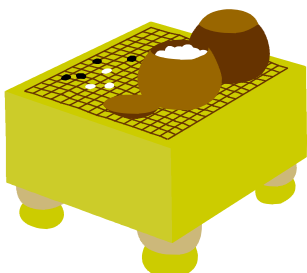
そんな時、〈自分の趣味を更に極めること〉や〈自分が本当にやりたかったことは何か?〉をじっくり考え、積極的にその世界に飛び込んでください。好きなこと、楽しいことの為に時間の全てを費やしても全く惜しくはありません。それこそ「イキイキ人生.....」だと思います。皆さんが充実した定年後の人生を歩まれることを、心から祈っております。

最後に、このような機会を作っていただいた稲門会の役員の皆様に感謝いたします。有難うございました。

安永 嘉治

同好会だより

囲碁同好会



世話人 福田 晃 TEL 394-0593
高 鷲 近 394-2336

○4月例会を下記の要領で開催します。奮ってご参加ください。

日時……平成20年4月19日(土), 13時

場所……市民センター別館, 第6会議室

●囲碁は、脳を活性化させる最適のゲームです。棋力は問いません。皆様のご参加をお待ちしております。

カラオケ同好会

世話人 芦田 均 TEL 393-7525
内藤 慎 393-5071



3月8日〈土〉午後7時過ぎにいつものとおり「カラオケランドズー」で10名もの参加を得て、快調にスタートした。今回は、雑学講座の講師安永様の指導を兼ねて参加戴いたこと、三宅会長も参加されたことなどが特筆されますが、各人3曲ずつ熱唱、いつもの違う熱気が感じられた。

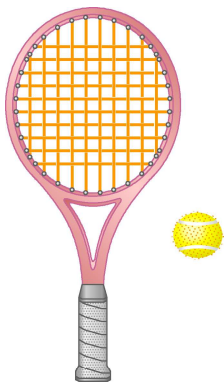
なお、自分の得意な歌1曲を選んで精進する「頑張るシステム」は3名程が手を上げました。細々としたスタートです。

- ・3月度参加者名〈敬称略 順不同〉
三宅良太・滝川正義・石塚征雄・井垣和太・福田昇七・大森平八郎・南湖修一・内藤慎
芦田均〔雑学講座講師 安永様〕

- ・今後の近予定は、
5月度 5月10日（土）午後7時10分～ 於「カラオケランドズー」
6月度 6月7日（土）午後7時10分～ 於「カラオケランドズー」

テニス同好会

世話人 當間 昭治 TEL 391-6023



3月の例会は1日（土）久米川コートで実施。参加者は奥山、小菅、田島、高橋、滝来、當間に當間の叔父が加わり7名。時おり強風で砂が舞い上がり、水まきをしたりとプレーを中断する場面もありましたが、それが休憩時間と気分転換にもなりました。

次回4月は下旬の土曜日、そして5月は平日の開催となります。

記

日時	4月26日（土）	午前11時～午後1時
	5月13日（火）	午後3時～午後5時
場所	両日とも久米川コート3	

俳句同好会（稲酔会）

世話人 井垣 和太 TEL 04-2924-2934



第37回「稲酔会」句会は4月26日（土）午後1時から、恩多ふれあいセンター和室で開催します。

兼題は「燕」です。兼題を含め5句を投句してください。

「燕」：玄鳥（つばめ）、乙鳥（おつどり）、つばくろ、つばくら、つばくらめ、などと呼ばれる春を代表する鳥です。

駅構内や、商店の出入り口、住宅の玄関の軒先など、人の通り道の頭上に土を使って上手に巣を作りますが、これは、蛇や猫など外敵から卵、雛を守る安全対策の様です。秋には南の方へ帰っていきますが、日本に留まって越冬するものも多いようです。「つばくら」「つばめ」の名前は「土をくろう」「土を喰む」から転じたとも言われます。

「若いつばめ」（年上の女の愛人である若い男・・広辞苑）の由来は何でしょうかね。すいすいと門や黒塀を越えて出入りする格好いいツバメの様子になぞらえての事でしょうか。

そんなことより句作に励めと言われそうですので、このへんで・・・。

夕燕我には翌（あす）のあてはなき	一 茶
雨はれて山家の燕畦にをり	秋桜子
腕組みて若さはたのし初燕	風 生

（稲雀記）

ウォーキングの会

世話人 高橋正夫 TEL 309-3407
土橋雄次 393-5708

第7回ウォーキング記 (3月22日)

昨夜の天気予報で明日は快晴で春本番となるでしょうと言っていたが、本当に暖かい天気恵まれ、新人も来て下さり、11名そろって練馬高野台駅を10時半過ぎに発つ。

行程は：長命寺～石神井川～石神井池～道場寺～三宝寺～氷川神社～三宝寺池～石神井駅

3寺院1神社巡り：長命寺は大きくて立派、特に南大門の四天王は印象に残った。彼岸の内のため、10以上出店していて賑やかだった。当寺は武蔵野三十三観音霊場の1番寺とか。三宝寺は広く、見る所が多く記念写真を撮った。

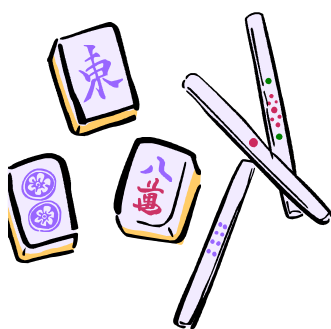
川、池巡り：石神井川の両岸には桜並木が続く、開花宣言が出来そうな木が多々あり。散歩をしたくなるように整備されている。川歩きを終えてひょうたん池のほとりで昼食、陽だまりの下 チベットの事、ロスの三浦の事など雑談、ウォーキングではこの時が一番楽しい。さて石神井池へ、ボート、釣り人等でおお賑わい。道沿いのコブシ、モクレン、ボケ、薄緑のしだれ柳が目を楽しませてくれた。一番奥の三宝寺池には大きな鯉、多くの種類の鴨が気持ち良さそう。2箇所から湧水が吹き出していた。近くに山が無いのに不思議。この池は井の頭池、善福寺池と並ぶ武蔵野三大池のひとつとか。さて帰り、11人いると先頭と後ろが離れてしまい、べつべつの道で駅に向かった。でも心配する事はない、都内だから。全員2時ごろ石神井公園駅に着き解散。(土橋記)

参加者：芦田、市川(久)、小菅、小林、當間、高橋(正)、土橋、内藤、三宅夫妻、番場(吉)



麻雀同好会

世話人 小野 智 TEL 391-9523
松永 常尚 332-5621



第42回大会を去る3月9日(日)麻雀Mにて4卓16名、常連ばかりの参加者で賑やかに開催しました。

今回は以下述べる特例にて、第1回戦から全員飲酒の雀戦となりました。それは當間氏より、わざわざ冷やして寄贈戴いた幻の酒「屋守」(オクモリ)(因みに東京地区にて5店の限定販売、しかも蔵元は豊島屋酒造でありながら当地東村山には販売店なし)を冷たい間に。さらに毎回頂いている三宅会長、小亀事務局長寄贈の酒2本の栓を抜く様相の楽しい雀戦となりました。

そしてこれらの美酒を一番おいしく味わったのは優勝した土橋氏でした。準優勝は経験者の内藤氏、三位は當間氏。以下参加者は朝木、芦田、江藤、小野、風間、小亀、佐野、鈴木、田口、中川、番場、松永、三宅の各氏。

尚今回は雀荘に部外者の卓がありましたので、恒例の「都の西北」が合唱できなかったのは一寸残念でした。しかしこんなに自由に振る舞える雀荘は通算(平成9年以来)11年の成果かと感謝している次第です。

更に今回優勝できなかった各氏は常に薪の上に臥して復讐を、そして苦い胆を嘗めて報復を誓って下さい。(当然世話役本人も)

次回第43回は、6月22日(日)に予定しています。

(松永)

3月度「お誕生会」報告

HAPPY
BIRTHDAY

担当幹事：南湖修一 390-2287、芦田均 393-7525

誕生該当者9名および雑学講座講師安永様や役員等で総勢何と23名、ほぼ定刻どおり17時過ぎにスタートした。いつものとおり三宅会長の月にちなんだお祝いの言葉、ついで安永様の「イキイキ人生」を送っている。一昨年、イベント会社や音楽学院を立ち上げ、毎日が楽しい」との自己紹介、風間副会長の祝辞を伴った乾杯の音頭へ。ついで、朝木吾朗様は「徳蔵寺にゆかりの地元出身で、現在は、指圧のお店も」順調のご様子。ご存知、井垣和太様は健康に留意され「毎日一万歩以上を」とつやつやした顔色で元気そう。飯村様は80歳。俳優小沢昭一さんと同期。大学時代、そしてこの稲門会と青春、生きがいについて語られ、ますますお元気そう。俳句でのご活躍の大野恵子様は野村證券でお仕事をされ、「元気で居られるのは一昨年亡くなった母のお陰」と。大森平八郎様は「65歳に。書道関連の仕事を活かしてボランティアを」。また、紅松容子様は味の素に居られた井垣さんの縁で稲門会に入会、その後の発展ぶりに驚嘆、現在は「大学時代の放送研究会の経験を活かし、朗読や目の不自由な方への『音訳』ボランティアを」されている。豊田友吉様は独特の明るい口調で「97歳の人とゴルフをエンジョイ。糖が高く身長は縮んで？居る」ので「健康に留意して頑張りたい」。作家で、還暦を迎えられた山崎光夫様は「老いてますます楽し 貝原益軒の極意」を新潮社から発刊、読めば「青老年層こそ健康にして元気で人生をエンジョイ」できそう。「体力は温存、食べて歩いて書ける」幸せを満喫されており、山室勲様は、「ここいらは立川断層で、今が2万年周期の時期に該当。」と皆の度肝を抜き、「家対策が必要」とのこと。これは早稲田大学のエクステンション・センターでの（地球の）歴史の勉強の賜物とのこと。

途中、記念品贈呈、赤荻幹事による記念写真、懇談と大人数で酔うほどに盛り上がりを見せ、いつものとおり東村山稲門会の歌、校歌を斉唱、名残が尽きない中、散会となった。

早稲田大学ニューオルリンズジャズクラブ
クラブ創部50周年記念コンサート

創立125年の記念すべき年度の最後を飾るイベントが新装なった大隈講堂で去る3月15日（土）、賑やかに催されました。招待券を小亀事務局長さんよりまわして頂き、行って参りました。大隈講堂満席の大盛況で、総合司会を露木茂（3期、MC、フジテレビキャスター）と武田徹（9期、dms）、大野勢太郎（10期、MC）と現役学生岡本麻未（放送研究会）の司会で進められ、皆さん大満足拍手喝采でした。プログラムは以下のとおりでした。

ジャズは100年あまり前アメリカニューオルリンズで生まれ、その頃を研究、演奏する大学のクラブは、世界中で早稲田大学だけになった由。（三宅）

演奏プログラム

〈第一部〉

平成20年 「第50期現役中心学生バンド」
50年前 「初代コンボ」プラス「初期バンド」
昭和38年 60年代バンド 「ノーティーズ」
「菅原バディボールデンバンド」
昭和51年 70年代バンド 「ドラムカーズ」
昭和57年 80年代バンド 「セカンドライナーズ」
平成元年 90年代バンド 「ハイタイムローラーズ」

〈第二部〉

挨拶 松坂ヒロシ
プロその実力
古川奈都子ソロ (p.vo)
後藤千香トリオ 後藤千香 (p)、後藤雅弘 (cl)、
小林真人 (b)
外山喜雄とデキシシーセイント スペシャルゲスト
ジミー・スミス
外山喜雄 (tp)、外山恵子 (bj)、小林真人 (b)
松本耕治 (tb)、広津誠 (cl)、ジミー・スミス (ds)
2000年代バンド 「野良青年団」
未来へ続く フィナーレ 「現役バンドノコンボ」



『歴史の裏側』

堀田秀雄 (S46文研)

会員の皆様の中には、安保闘争を体験された方も多数おられると思います。安保闘争で一躍脚光を浴び、欣喜雀躍、活躍したのは日本共産党でありました。とりわけ、国会議事堂の前でデモ行進を出迎える志賀義雄（1901～89）の勇姿を思い浮かべられる方もおられると思います。それから20数年後、某プレハブメーカーの重役につれられて、年賀で吉祥寺の志賀邸を訪れたことがありました。志賀はお屠蘇気分もてつだって、重役の差し出す白扇に、『巨山多藍』という毛沢東の詩の一節をものに見事に揮毫したのである。曰く、「大きな山は色が多い」という意味であると。なるほど未だに毛沢東は建国の父であり続け、天安門の肖像はとりはずされていないが、今では毛沢東は色を好んだのであり、その結果が女による壮大な破壊を招いたことはあきらかである。まさしく国家建設の破壊者であったのである。誠に意味深長な一節であった。

共産党代議士時代、志賀は犬養健*（1896～1960）とならび称される書の達人であったし、戦前特高の拷問にも耐え抜いた闘士（戦前志賀は18年間獄中にあった）でもあった。特高には苦い経験を持つ吉田茂も志賀には一目置いていたと伝えられている。しかし、この当時志賀はソ連の核実験に賛成し、代々木の共産党を除名され、『日本の声』を結成し活動が続けていたのである。某プレハブメーカーは志賀を通じて、ソ連の木材輸入に便宜を受け、しかも廉価な価格で輸入できたのであり、利益の一部は志賀に渡っていたと推測される。我々のマイホームは活動資金の一部になっていたのである。また、ソ連は志賀によって言うことを聞かない代々木の共産党を牽制できたのである。歴史には厳然として闇の世界があり、『事実はいかにあったか』（L. von.ランケ）を追求することはやさしいことではない。とろこが最近のマスコミはいとも簡単に結論を下して平然としているし、視聴者もそれを求めているようでもある。いやはや落ち着いたの短慮軽薄な世情になったものである。まさしく劇場化日本である。老いも若きもすっかりボケてしまったのだろうか。なぜじつくりと腰を落ち着けて考究できないのか。無事で何事も起きませんように。『南無阿弥陀仏』、『南無阿弥陀仏』である。

*犬養毅の次男。吉田内閣法相の時、指揮権を発動して佐藤栄作の逮捕行使請求権を拒否。後に責任をとって辞職。

俳 壇

丸本 北窓
病室の窓に初蝶訪ひて

八木 竜湖
春燈やひとり豆腐を食む男

木蓮の中に佛と思ふ白

全山に渡り切りたる初音かな

芦田 火吐四

紅白の梅に華やぐ声と声

河津櫻愛でる気持ちに花粉なし

井垣 稻雀

背を伸ばし行く啓蟄のだんご虫

バット背に野球少年春の風

大野 恵峰

携帯電話握りしめたる卒業子

たまりたる新聞読んで春の雨

菊田 一平

芽柳のエレベーターは手動式

團十郎の直実を見てしじみ汁

幸田 瑞雄

枯れ庭をそつと彩る福寿草

辛夷さん次は我等と草も木も

高部 糸行

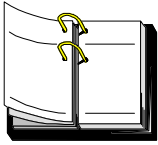
風光る分校あとに碑がひとつ

春昼や一人芝居の砂遊び

内藤 慎

春風や妻に随う寺巡り

聞しじまひそかに聞こゆ落椿



今月の行事（4月）

5日（土）4月度役員会

お誕生会
カラオケ同好会

16日（水）園芸の会

18日（金）ゴルフ同好会

19日（土）囲碁同好会

26日（土）テニス同好会

26日（土）俳句同好会

5月の予定

10日（土）5月度役員会

雑学講座
お誕生会
カラオケ同好会

13日（火）テニス同好会

15日（木）～16日（金）旅行同好会



編集局だより

○“さくらさくら、やよいの空は、見わたす限り...♪♪” 今年の桜は3月に満開となりましたね。稲門会のお花見会もさぞ盛会だったことでしょう。桜の名所はどこもかしこも花見客で大賑わい。私自身は千鳥が淵の桜を楽しみました。ついでに東京の開花宣言の基準となる靖国神社の標本木も見てきました。

○さて、桜は桜でも試験結果はどうかと言いますと —— お陰様で無事合格  しました。久しぶりの試験勉強、しかも一週間の間をあけて2つ受けたのでエネルギーを使い果たしてしまい、燃え尽き症候群になってしまったのかと思ったほどです。しかし合格通知をもらえば元気潑刺？とまではいかなくても元通りの暮らしになりました。

○次号の原稿締め切りは4月25日（金）です。よろしくお願いいたします。

第117回オペラ鑑賞会のお知らせ — 清瀬稲門会 —

期日：4月13日（日）午後1時30分～4時 （入場無料）

会場：アミューホール

清瀬駅前北口広場・生涯学習センター7階（1階りそな銀行）

曲目：モーツァルト 歌劇

羊飼いの王様

第118回オペラ鑑賞会のお知らせ — 清瀬稲門会 —

期日：5月11日（日）午後1時30分～4時15分 （入場無料）

会場：アミューホール

清瀬駅前北口広場・生涯学習センター7階（1階りそな銀行）

曲目：ドビュツシー 歌劇

ペレアスとメリザンド

＊ ＊ ご家族、近隣の方々お誘い合わせご来場をお待ちしております ＊ ＊